



# 2024年12月期 第2四半期 決算説明資料

Aug 14, 2024

株式会社ワイヤレスゲート  
(証券コード：9419)



- 1** 当社について
- 2** 2024年12月期2Q決算実績
- 3** 成長戦略と取り組み状況
- 4** 参考資料



**1** 当社について

**2** 2024年12月期2Q決算実績

**3** 成長戦略と取り組み状況

**4** 参考資料

# 会社概要

## Our Purpose

イマジネーションとつなげる力で  
社会に、そして未来に  
「あって良かった」を届ける

## Our Vision

社員に感動を  
社会に笑顔を

### 会社名

株式会社ワイヤレスゲート

### 事業内容

- 1.ワイヤレスゲートWi-Fi事業
- 2.デジタルマーケティング事業

### 代表者

代表取締役CEO 成田 徹

### 従業員

29名 (2024年6月末時点)

### 設立

2004年1月

### 資本金

921百万円 (2024年6月末時点)



- 1 当社について
- 2 2024年12月期2Q決算実績**
- 3 成長戦略と取り組み状況
- 4 参考資料

## エグゼクティブ・サマリー

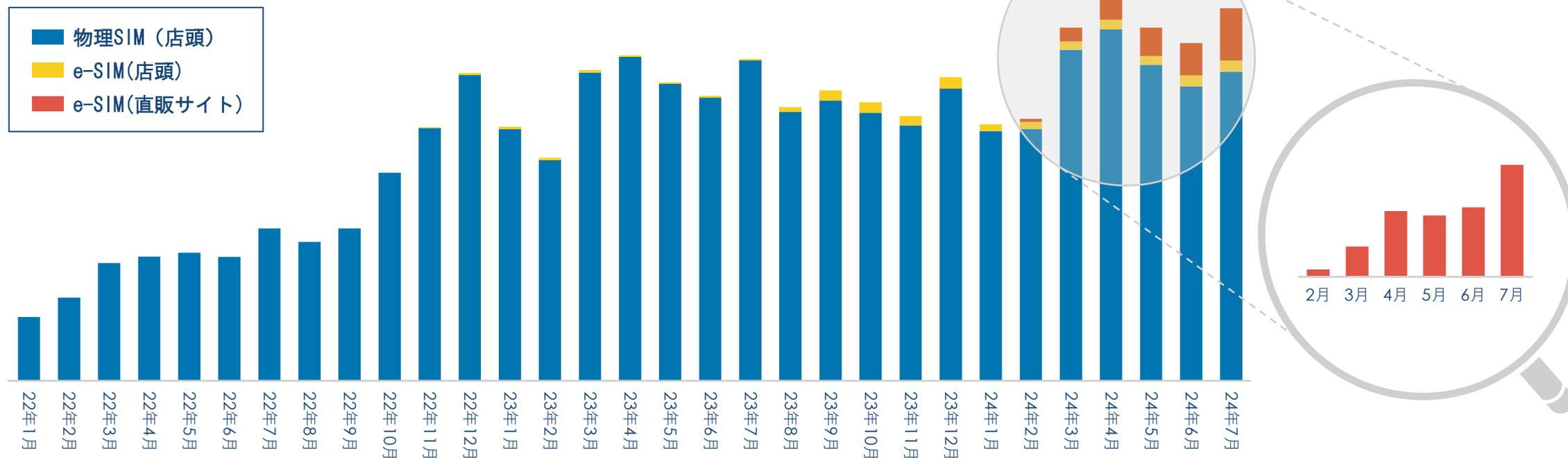
**売上高、営業利益は計画通り進捗。e-SIM販売も順調に拡大中。  
さらなる売上拡大を目指し、下期は積極的な広告投資を実施する。**

- 1** 売上高は4,278百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は214百万円（前年同期比238.7%増）と順調に推移。
- 2** インバウンド（訪日観光客）向けe-SIMが順調に販売拡大。  
3Q以降は、観光情報オンラインメディアを活用し更なる販売数を見込む。
- 3** 国内EC販売に特化した通信サービスを3Q以降に大規模投入し、  
新たなマーケット開拓を行う。

# インバウンド（訪日観光客）向けプリペイドSIM

2024年2月より、デジタルマーケティング事業のe-SIM販売がスタートし、インバウンド（訪日観光客）向けプリペイドSIM販売が好調。店頭販売の物理SIMも合わせた4月度は過去最高販売実績となる。

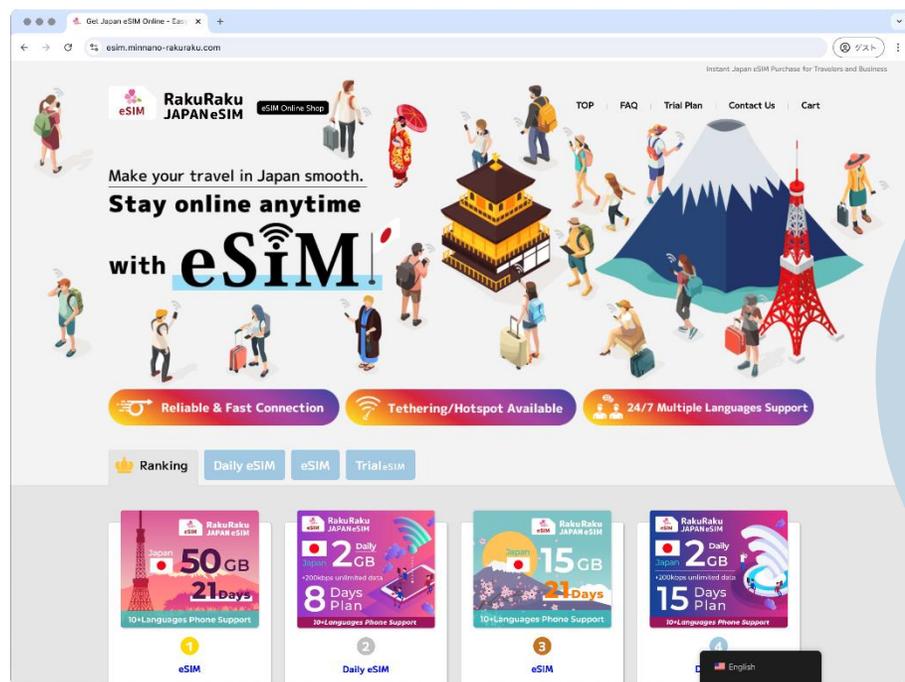
## ● SIM販売実績の過去3年の月次推移



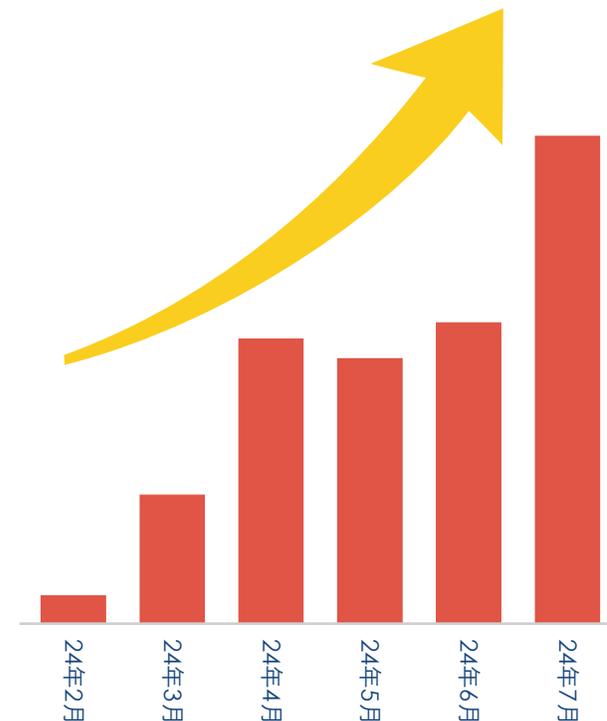
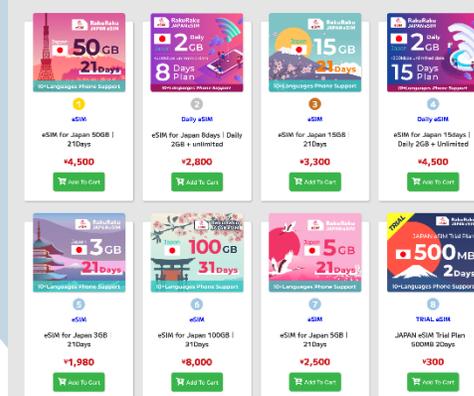
# デジタルマーケティング事業 / インバウンド e-SIM の進捗

多言語の検索広告などにより販売数を伸ばしている。今後は訪日観光客向けのオンラインメディアをより充実させ、メディアからの販売を増やせるよう取り組む。

## ● インバウンド向け e-SIM の EC サイト「RakuRaku JAPAN eSIM」



## 10カ国対応



# デジタルマーケティング事業 / 通信サービスの国内EC販売を大規模に開始

## ●通信サービスのEC販売イメージ



積極的な広告投資による国内インターネット販売により  
顧客数を大きく拡大。

# 2024年2Q決算 業績概要

売上高は前年同期比0.3%増、営業利益は前年同期比238.7%増、当期純利益は前年同期比127.8%増で推移。全ての損益で前年同期を上回る。

(単位：百万円) ※百万円未満切り捨て	2023/12期 2Q実績 (前期)	2024/12期 2Q実績 (今期)	前年同期比較		2024/12期 通期	
			増減額	増減率	通期予想	進捗率
売上高	4,266	4,278	12	0.3%	8,741	48.9%
売上総利益	2,112	2,135	23	1.1%	-	-
売上総利益率	49.5%	49.9%	-	-	-	-
営業利益	63	214	151	238.7%	162	132.2%
経常利益	63	210	146	228.5%	162	129.0%
当期純利益	92	210	118	127.8%	178	118.1%

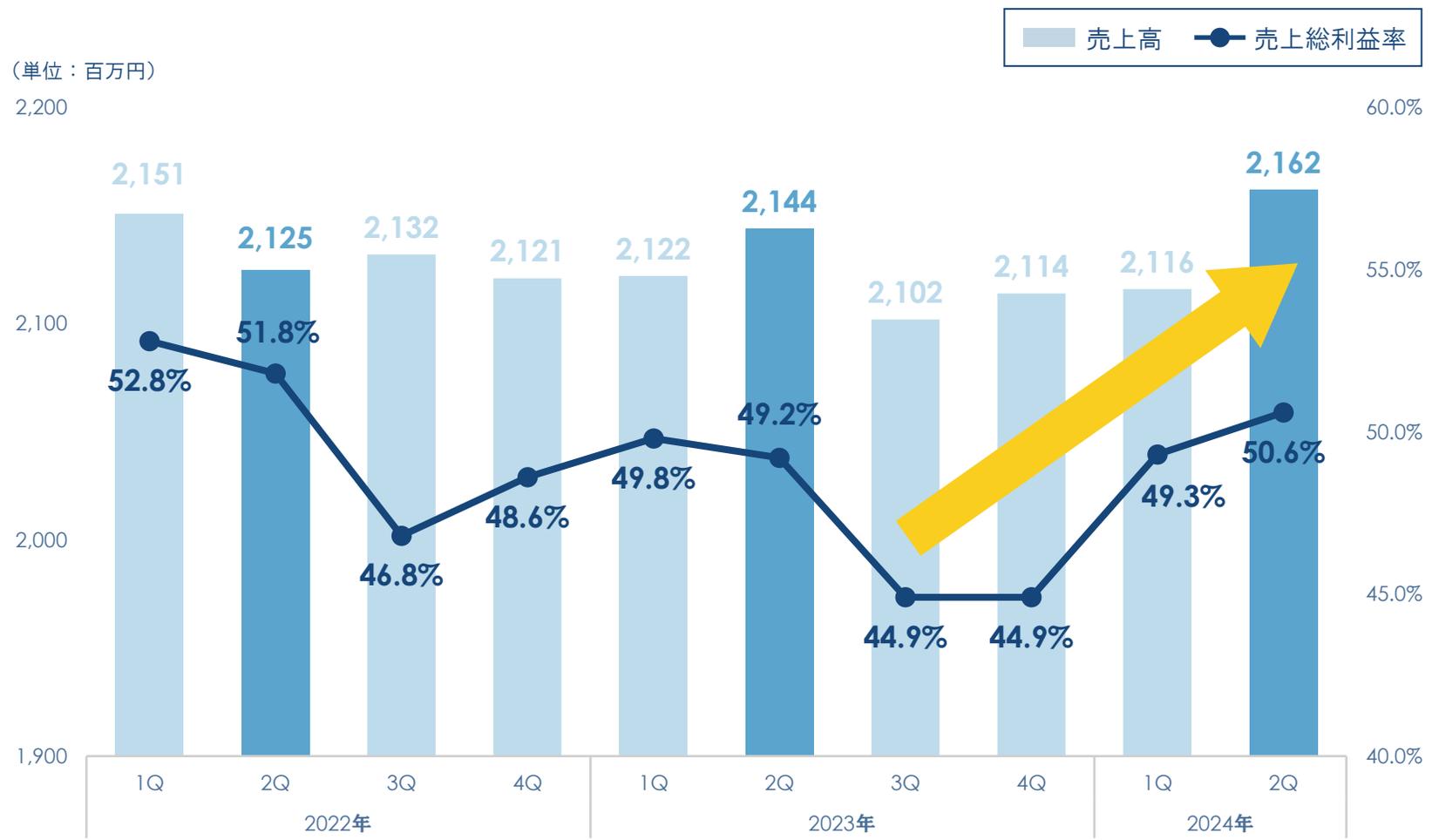
# 売上高・売上総利益の四半期別推移

## <売上高>

売上高は、2023年3Qを底に回復傾向。

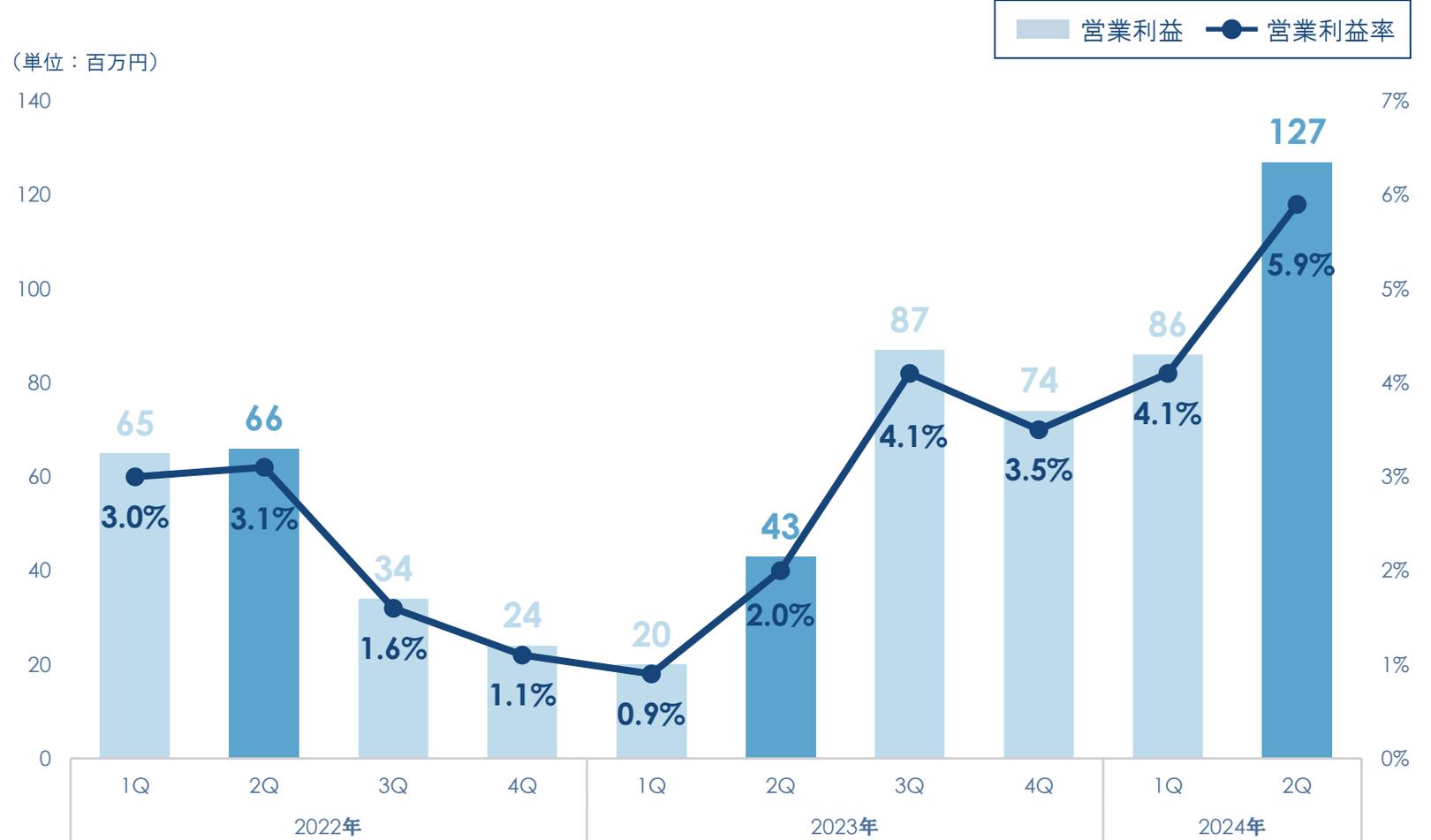
## <売上総利益>

売上総利益率は前四半期から改善。



# 営業利益・営業利益率の四半期別推移

＜営業利益・営業利益率＞  
 着実に稼ぐ力が向上し営業利益は好調に推移するが、さらなる売上拡大を目指し、積極的な広告投資を予定。



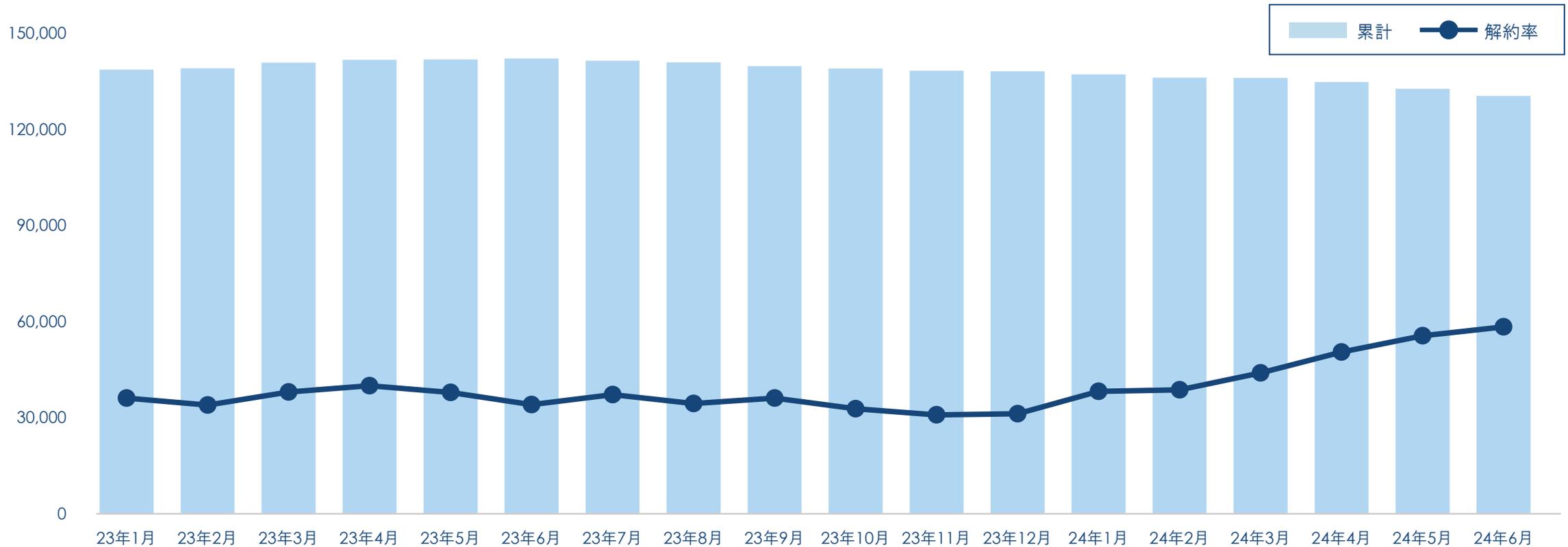


- 1 当社について
- 2 2024年12月期2Q決算実績
- 3 成長戦略と取り組み状況**
- 4 参考資料

## 2024年度取り組み状況

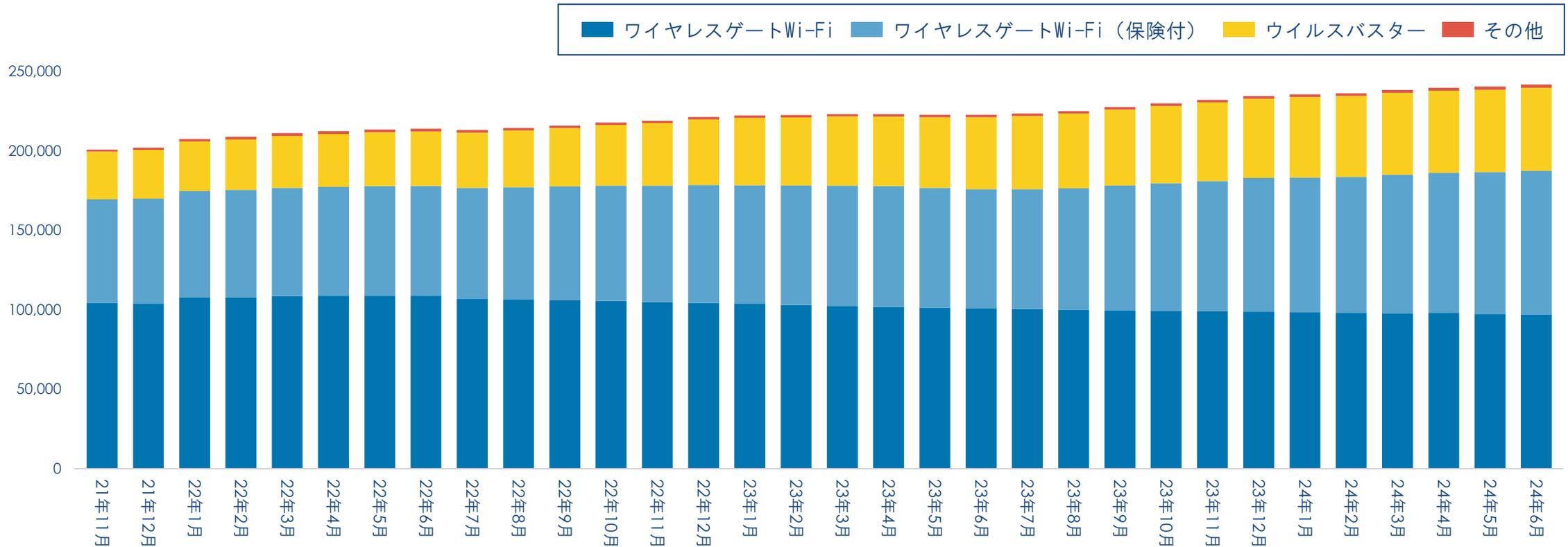
# WiMAX 累計と解約率

2024年2Qは、契約獲得数は増加したが法人の大口解約による一時的な解約件数が発生。3Qに向けての累計数は、解約数の落ち着きにより足元改善傾向。



# 2024年度取り組み状況 周辺商品契約者数の進捗の推移

引き続き周辺商品契約件数は堅調に推移し、2024年6月時点での契約件数は24.0万件に達した。  
2024年7月より、新たな周辺商品2商品の取り扱いを開始し、純増傾向を継続させる。



# 2024年度取り組み状況

2024年3Q以降、2Qまでの投資余力を活かし更なる販促投資を行うことで成長拡大を目指す。

デジタル  
マーケティング事業  
インバウンド向け  
e-SIM販売  
チャンネル拡大

ヨドバシカメラ  
との  
パートナーシップ強化  
新規コンテンツ  
販売の開始

利益率の高い  
ECサイト  
での  
通信サービス販売の  
拡大

# 中期経営計画2026

事業を成長軌道へ回帰させることを至上命題とし、基盤となる通信事業の安定拡大とデジタルマーケティング事業の成長拡大により、持続的な「増収・増益」体制を目指す。

		2023/12 (実績)	2024/12 (予想)	2026/12 (予想)
売上高	通信事業	84.8億円	86.8億円	90億円以上
	デジタルマーケティング事業	N/A	0.6億円	10億円以上
	合計	84.8億円	87.4億円	100億円以上
営業利益		2.24億円	1.62億円	5億円以上



- 1 当社について
- 2 2024年12月期2Q決算実績
- 3 成長戦略と取り組み状況
- 4 参考資料**

# 経営体制

代表取締役CEO

## 成田 徹

Toru Narita

1998年 DDIポケット株式会社(現：ソフトバンク(株))入社  
 2010年 当社入社  
 2014年 当社 営業本部長  
 2015年 当社 執行役員営業本部長  
 2020年 当社 取締役執行役員営業本部長  
 2021年 当社 新規事業本部長 兼任  
 2023年 当社 取締役COO執行役員 営業本部長兼新規事業本部長  
 2024年 当社 代表取締役CEO



取締役COO兼CFO

## 原田 実

Minoru Harada

1990年 マニュファクチャラス・ハノーバー銀行  
 (現：JPモルガン・チェース銀行) 入行  
 1997年 株式会社NEC総研(現：NECマネジメントパートナー(株))  
 EC担当専任研究員  
 1998年 ライコスジャパン株式会社(現：楽天グループ(株))  
 WEBプロデューサー  
 1999年 株式会社ライブドア(現：NHNテコラス(株))  
 コンテンツ担当ディレクター  
 2000年 株式会社シープロド 専務取締役COO  
 2004年 当社設立 取締役COO  
 2022年 当社 取締役CFO兼CAO  
 2024年 当社 取締役COO兼CFO

# 社外取締役

経験と実績豊かな独立社外取締役、監査等委員によるコーポレートガバナンス

取締役(社外・監査等委員)

## 西 康宏

Yasuhiro Nishi

元 株式会社インターネットイニシアティブ 取締役CFO  
 元 株式会社オークネット 取締役経営管理部門長  
 元 日本ベリサイン株式会社(現：デジサート・ジャパン(同))  
 取締役副社長兼CFO  
 MySkin株式会社 代表取締役  
 TAK-Circulator株式会社 取締役

取締役(社外・監査等委員)

## 渡邊龍男

Tatsuo Watanabe

株式会社オールアバウトライフマーケティング 監査役  
 株式会社インターネットインフィニティー 監査役  
 株式会社ORJ 社外取締役  
 株式会社CAC Holdings 社外取締役  
 株式会社オールアバウト 社外取締役(監査等委員)  
 株式会社セルム 社外取締役(監査等委員)

取締役(社外・監査等委員)

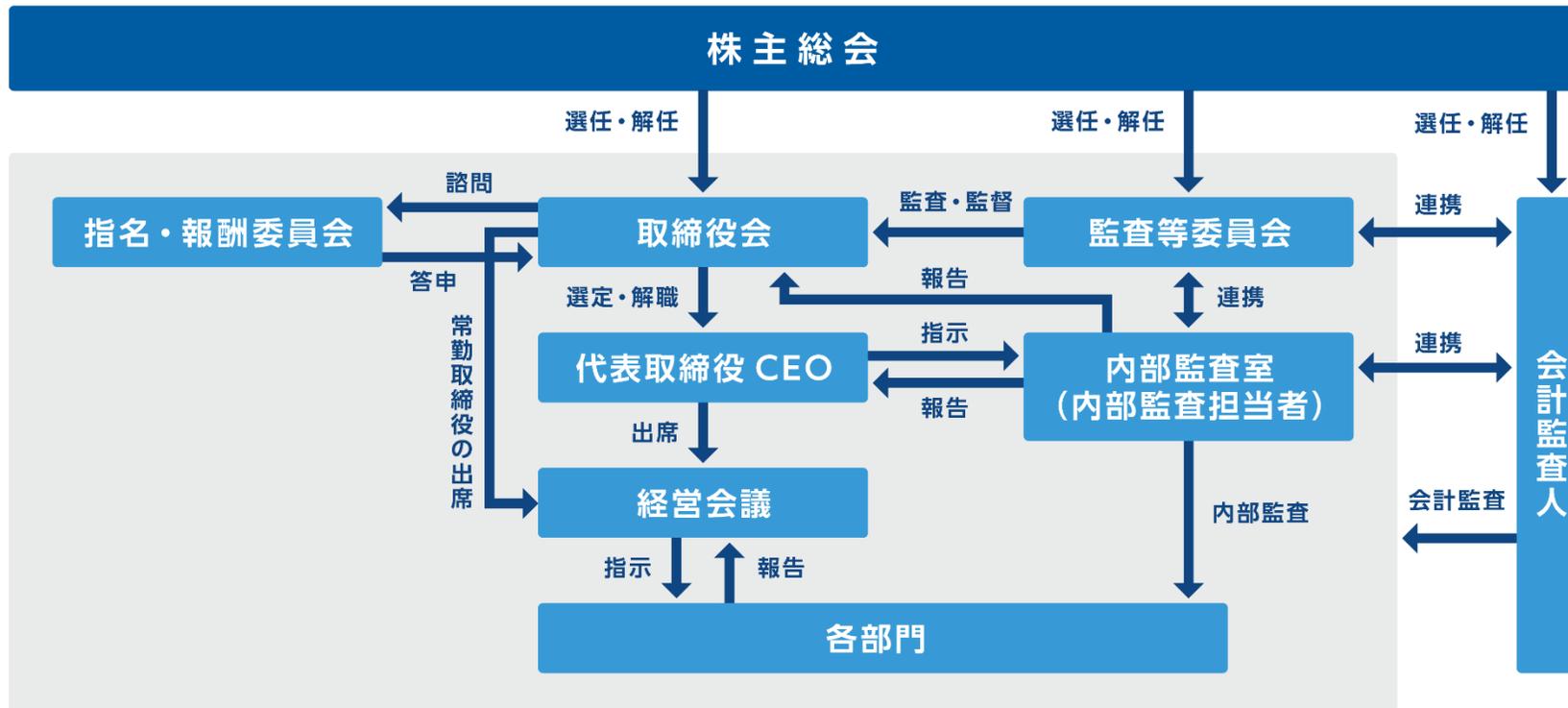
## 江口真理恵

Marie Eguchi

祝田法律事務所 パートナー  
 株式会社サイゼリヤ 社外取締役(監査等委員)  
 株式会社五十嵐電機製作所 社外取締役(監査等委員)

# コーポレートガバナンス体制

取締役総数5名、独立社外取締役（監査等委員）3名、うち女性取締役1名。指名・報酬委員会において、取締役構成・報酬構成を審議。取締役会の客観性を高め、コーポレートガバナンスの充実を図る。



- 本資料に記載された業績見通し等に関する記述は、発表日時点での当社の判断に基づくものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。事業環境の急速な変化により、実際の業績と異なる可能性があることをご了承ください。
- これらのリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 新たなリスクや不確定要素は随時発生し得るものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。新たな情報、将来の事象によって、当社が将来予想に関する記述を見直す可能性があります。記載内容に重要な変更が生じた場合には、速やかにその内容について開示します。



**株式会社ワイヤレスゲート**  
(証券コード：9419)